

第4回（令和5年度第1回）市民動物園会議円山動物園動物福祉部会 会議録

開催方法：書面（メール）会議形式

開催期間：令和5年7月12日（水）～7月20日（木）

参加委員：次項の委員名簿のとおり

【議題】野生動物に直接接触する機会の提供に係る審議について

【審議経過】

「飼育体験及び飼育実習（博物館実習や獣医実習における飼育体験を含む。別紙「会議資料一式」参照）」について、札幌市動物園条例第14条ただし書き規定に該当するかどうかをメールにより意見を委員全員と共有しながら審議した。

【審議結果】

適切に動物の状況を判断できる監督者の元の体験であり、飼育管理上不可欠な作業に携わる教育目的で行うものであることから、生物多様性の保全に寄与する効果があり、良好な動物福祉が確保された実施内容であると認められ、この飼育体験及び飼育実習を実施することについて全委員から承認された。

<参考>札幌市動物園条例第14条（抜粋）

（動物の展示及び教育活動における原則）

第14条 円山動物園において動物の展示及び教育活動を行うに当たっては、野生動物に関する情報を正確に伝え、その尊厳を尊重するものとし、次に掲げる事項を行ってはならない。ただし、第1号に掲げる事項について、生物多様性の保全に寄与する教育的効果があり、かつ、良好な動物福祉を確保しているものと市民動物園会議が認めた場合は、この限りでない。

(1) 利用者に野生動物に直接接触する機会を提供すること。

(2) 動物に人を模した姿、格好又は行動をさせようとする事。

(3) 動物の本来の生態とは異なることを、人の姿、格好又は行動に当てはめて表示すること。

市民動物園会議 円山動物園動物福祉部会 委員名簿
(R4. 9. 16～)

五十音順

氏名	所属・役職等
コハリ 小針 大助	茨城大学農学部附属国際フィールド農学センター 准教授
タキグチ 滝口 満喜	北海道大学大学院獣医学研究院長・獣医学部長
ナガクラ 長倉 かすみ	(公財) 横浜市緑の協会総務部総務課 課長補佐兼庶務係長
ホンダ 本田 直也	一般社団法人野生生物生息域外保全センター 代表理事
ヤマナン 山梨 ユミ 裕美	京都市動物園生き物・学び・研究センター 主席研究員